

新型コロナウイルス感染症患者（12例目）の発生について（第1報）

令和2年4月5日（日）、広島市内の医療機関から、新型コロナウイルス感染症を疑う患者が受診している旨の連絡があり、本市衛生研究所で検査を実施したところ、4月6日（月）、陽性であることが確認された。

1 患者概要

- (1) 年代：30歳代
- (2) 性別：女性
- (3) 居住地：広島市
- (4) 職業：会社員
- (5) 症状：発熱、嗅覚障害（現在、症状は安定している。）

2 行動、症状の経過等

- 4月 1日（水） 37.5℃の発熱
A医療機関を受診。インフルエンザ陰性。解熱剤処方
- 4月 2日（木） 解熱
- 4月 5日（日） 嗅覚障害出現
A医療機関を再受診
医師が新型コロナウイルス感染症を疑い、保健センターに検査依頼
- 4月 6日（月） 保健センターが検体を採取
遺伝子検査の結果、新型コロナウイルス陽性と判明
- 4月 7日（火） 感染症指定医療機関に入院

※本人からの申告によれば、発症前14日以内に渡航歴はなく、発症後はマスクを着用していた。

3 今後の対応

- ・現在までに確認できた患者の行動歴をもとに、濃厚接触者あるいはその可能性のある者に対し、患者との接触状況や健康状態についての把握など、逐次、積極的疫学調査を実施しているところである。
- ・更に患者の詳細な行動歴の確認を行った上で積極的疫学調査を行い、その結果をもとに、当該濃厚接触者に対する、健康観察（毎日の体温確認等）と、必要に応じてPCR検査を適切に実施することとしている。
- ・この調査により把握した感染拡大防止のために必要な情報は、速やかに市民に広く提供することとしている。国内では感染者数の増加とともに、感染経路が不明な感染者や集団感染事例が報告されており、さらなる感染拡大が懸念されている。市民の皆様には、引き続き、咳エチケットや手洗いの励行など感染予防対策にご協力をいただきたい。